

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												E型肝炎	肝臓 2006; 47: 384-391	わが国のE型肝炎の実態を明らかにする目的で、全国から総数254例のE型肝炎ウイルス感染例を集め、これを解析した。その結果、以下の知見を得た。1)HEVは全国に浸透している。2)感染者の多くは中高年(平均年齢約50歳)で、男性に多い。3)我国に土着のHEVの遺伝型は3型と4型である。4)年齢と肝炎重症度に相関がある。5)遺伝型は4型が顕在化率も重症化率も高い。6)発症時期が無季節性である。7)感染経路は、動物由来食感染が約30%、輸入感染が8%、輸血感染が2%、不明が約60%であった。
												異型クローン フェルト・ヤコ ブ病	Future Virol 2006; 1: 659-674	血液製剤の製造工程におけるプリオンの除去に関する総説である。プリオン除去のための個々の製造工程は、実際の製造条件を実験室での条件にスケールダウンさせ、確立されているスクレイピー株をモデル系として用いて通常は評価されている。しかしながら、血液中のプリオンタンパクの存在形態が不明なので、評価実験のためのスパイク材料としてのプリオンの調製方法は注意深く考慮しなければならない。現在のところ、エタノール分画、PEG分画、カラムクロマトグラフィー、ウイルス除去膜およびデプスフィルターでの濾過が有効とされている。
												ウイルス感染	J Infect Dis 2006; 194: 1276-1282	ヒトポカウイルス感染の疫学的プロファイルおよび臨床的特徴を調べるため、2歳未満の小児のヒトポカウイルスを調査した。直接的免疫蛍光試験でRSV(respiratory syncytial virus)、パラインフルエンザウイルス(1-3型)、インフルエンザAおよびB、並びにアデノウイルスが陰性であった425名中22名(5.2%)がPCRでヒトポカウイルス陽性であり、無症候であった96名では陽性者はゼロであった。この試験期間中、2つの異なる遺伝型が見られた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: 956-963	最近、大規模なスクリーニングによって、従来とは異なるPrPresがウシにおいて発見された。これらもまた別のプリオン株を代表するかを調べるため、H型と呼ばれる高分子量のウシの単離体を、ウシまたはヒツジのPrPを発現するトランスジェニックマウスに接種した。全てのマウスは神経学的症状を呈し、この株に感染し、感染性プリオンの新規の株であることが示された。この病原体は、BSE病原体およびヒツジスクレイビー病原体とは明らかに異なる特有の神経病理学的特徴を示した。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/CBER 2006年10月15日 FDA/TSEAC Meeting 2006年12月15日	FDAは、米国で認可されたヒト血漿由来第VIII凝固因子製剤 (pdFVIII) の使用に係る潜在的vCJDリスク評価草案を作成した。FDAの評価モデルの結果は、血友病Aおよびフォンウィルブランド病患者に使用されるpdFVIII製剤の、vCJD感染リスクは非常に低いが、ゼロではないかもしれないことを示唆した。またTSEAC (TSE Advisory Committee) は、pdFVIII製品中のTSE除去の適切な閾値について議論した。TSE除去レベルにより、vCJD感染リスクは大きく変動することが示された。
												結核	NIKKEI NET いきいき健康 2006年12月5日	既存の治療薬がほとんど効かず、世界保健機関(WHO)が警戒を呼び掛けている「超多剤耐性」の結核菌が、国内でも入院患者の0.5%から検出されたことが、結核研究所の調査で明らかになった。2002年6月から11月にかけて国内99の結核治療施設の入院患者3122人から採取した結核菌を分析した結果である。検出例の半数は薬の服薬歴がなかったことから、他の患者から感染した可能性が高い。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC 2006年11月29日	米国で3例目のvCJD症例が確定された。サウジアラビアで生まれ育った若年成人で、2005年後半から米国に住んでいる。2006年11月下旬にアデノイドおよび脳生検により確定診断された。この患者に輸血歴やヨーロッパ訪問歴はなく、子供の頃にサウジアラビアでBSE感染牛製品を摂取したことが原因と思われる。この患者に供血歴はなく、公衆衛生的調査により、米国住民への伝播の危険はないと同定された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												アルツハイマー型認知症	Science 2006; 313: 1781-1784	アルツハイマー病患者、またはβ-アミロイド前駆体タンパク質(APP)発現トランスジェニックマウスから得たアミロイド-β(Aβ)含有脳抽出物の希釈液をAPPTランスジェニックマウスの大脳内に注射すると、時間と濃度に依存した大脳内のβ-アミロイド-シスとそれに伴う病変を誘発した。脳抽出物のシーディング活性は、Aβ免疫除去、タンパク変性、またはAβを宿主に免疫することによって、低下または消失した。外因性に誘発させたアミロイド-シスの表現型は、宿主と誘導物質の起源の両者に依存した。
												異型クローンフェルト・ヤコブ病	Lancet 2006; 368: 2226-2230	ヒト濃縮赤血球に混入した脳由来の感染性物質を約4 log ID50減らすことのできるアフィニティ樹脂L13と同等能力のL13Aとについて、血中に存在する内因性TSE感染性物質の除去能力を評価した。スクレイビーに感染させたハムスターの全血は白血球除去によって感染性の72%が除去された。99匹中15匹が白血球除去した全血に感染したが、更に各々の樹脂を通過して得られた最終産物を接種された96匹又は100匹はいずれも発症しなかった。樹脂によって内因性TSE感染性物質が除去されることが示された。
												トリパノソーマ症	FDA News P06-198 2006年12月13日	米国FDAは2006年12月13日、重篤且つ致死性の寄生虫感染症のシャガス病を引き起こす血液寄生虫について血液ドナーをスクリーニングする新しい検査を承認した。この試験はORTHO T. cruzi ELISA Test Systemと呼ばれ、trypanosoma cruzi抗体を検出するもので、このような検査としては初めてFDAに承認されたものである。この検査は、全血の供血者のスクリーニングに加えて、臓器、細胞及び組織ドナーからの血漿及び血清をスクリーニングするのに用いられる。
												異型クローンフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2006; 12(44): 4-5	伝達性海綿状脳症(TSE)諮問委員会が2006年12月15日に公開で開催され、ヒト血漿由来抗血友病因子(FVIII)製剤におけるvCJDへの潜在的曝露に関するFDAのリスク評価ならびに血漿由来FVIII製造におけるTSEクリアランスのレベルについて討論された。このリスク評価に対して諮問委員会は、報告が強制でないことや、最終製品のリスク減少を推定をする際に用いたエビデンスに対して懸念を表明した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 精査	感染症(PT)	出典	概要
94	2007/02/23	60891	ZLBベ リング	人CI-インアクチベーター	人CI-イン クチベーター	ヒト血液	米国、ド イツ、オ ースト リア	有効成分	有	有	無	HHV-8感染	N Engl J Med 2006; 355: 1331-1338	2000年12月から2001年10月に輸血を受けたウガンダのKampalaの患者1811例のうち、輸血前にヒトヘルペスウイルス8型(HHV-8)血清陰性であった患者991例について追跡調査を行った。そのうち43%(425例)にHHV-8血清陽性血が輸血された。991例中41例にHHV-8セロコンバージョンが起こったが、セロコンバージョンのリスクは陽性血を輸血された患者の方が陰性血を輸血された患者より有意に高かった。
												ウイルス感染	Transfusion 2006; 46: 1352-1359	全血輸血により、サルfoamyウイルス(SFV)感染が起こるかをアカゲザルを用いて調べた。自然感染ザル2匹の全血を、各々、レトロウイルスを持たないサル2匹に輸血したところ、1匹のドナーからのレシピエントでは感染し、もう1匹のドナーからのレシピエントは感染しなかった。ヒトでのSFV輸血伝播の可能性が示された。
95	2007/02/23	60892	ZLBベ リング	人血清アルブミン 人免疫グロブリンG 破傷風抗毒素 フィブリノゲン加第XIII因子 ペプシン処理人免疫グロブリンG 乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	ヘパリンナ リウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			
96	2007/02/26	60893	大日本住 友製薬	アガリンダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓	米国又はカ ナダ	製造工程	無	無	無			
97	2007/02/26	60894	大日本住 友製薬	アガリンダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	ヘパリン	ブタ腸粘膜	米国、カナ ダ又は中国	製造工程	無	無	無			
98	2007/02/26	60895	大日本住 友製薬	アガリンダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	ヒト線維肉 腫由来細胞 株(HT-1080 由来)	ヒト細胞株	米国	製造工程	無	無	無			
99	2007/02/26	60896	大日本住 友製薬	アガリンダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	ウシ血清由 来成分	ウシ血液	ニュージー ランド又は オーストラ リア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
100	2007/02/26	60897	大日本住友製薬	アガルシダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	乳糖	ウシ乳	米国	製造工程	無	無	無			
101	2007/02/26	60898	大日本住友製薬	アガルシダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	ウシ血清由来成分	ウシ血液	米国	製造工程	無	無	無			
102	2007/02/26	60899	麒麟麦酒	エポエチンアルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	10数年前に樹立したマスタセルバンクに使用した動物の細胞株	製造工程	無	無	無			
103	2007/02/26	60900	麒麟麦酒	エポエチンアルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMED-mail20061106.3187	オーストラリアのニューサウスウェールズ州では最近、2件の炭疽発生が認められたが、これらによる家畜の死亡はほとんどなかった。1件目で死亡したのは牛1頭のみで、2件目では子羊2頭が死亡した。両例とも既知の炭疽ベルト地帯で発生したが、この地帯では日常的に1年あたり約4件の発生がある。両例は政策に従って取り扱われた。すなわち、死亡した家畜は焼却され、接触のあった家畜全頭にワクチン接種が行われた。その後、これらの家畜場で死亡例は発生していない。
104	2007/02/26	60901	麒麟麦酒	エポエチンアルファ(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ降膜由来トリプシン	アメリカ合衆国、カナダ	製造工程	有	無	無	炭疽	ProMED-mail20060716.1957	カナダSaskatchewan州では家畜で炭疽が大流行しているが、同州メルフォートに住む男性1名が皮膚炭疽を発症した。2006年7月14日の同州政府の発表によれば、この男性は現在抗生物質による治療を受けており、完全に回復すると予想されている。皮膚炭疽は炭疽の中で最も一般的であり、重篤度が最も低いものである。皮膚炭疽はヒトの皮膚の破損(切り傷や擦り傷によるもの)が罹患動物や死亡動物に存在する炭疽菌胞子と直接接触すると感染すると考えられる。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												炭疽	ProMED-mail20060720.1993	カナダSaskatchewan州では家畜で炭疽が大流行しており、47カ所の施設が隔離された。42カ所の確認された施設は、ウシの牧場 35カ所、ウマ 1カ所、ブタ 1カ所、バイソン 5カ所、オジロジカ 1カ所、ウシとウマ 1カ所、ウシとヒツジ 1カ所、ヒツジ 1カ所であった。10カ所の施設では、死体からのサンプリングが行なわれ、結果を待っている。死亡した動物は、ウシ148頭、ウマ6頭、ブタ1頭、ヒツジ3頭、バイソン34頭、オジロジカ8頭である。死体の処理方法は、焼却50%、埋葬24%、未定あるいは不明26%である。
												炭疽	ProMED-mail20060924.2728	カナダ食品検査庁(CFIA)によると過去2週間に炭疽の新たな症例は確認されていない。たとえ新たな症例が発生しようとしても、その可能性は9月後半および10月に入るにつれて減少する。サスカチエワン州で記録されている最悪の炭疽大流行では、ウシ493頭、バイソン254頭、ヒツジ29頭、オジロジカ13頭、ウマ6頭、ブタ3頭、ヤギ2頭など800頭の動物が死亡した。来年(2007年)も再び炭疽が発生する可能性があり、発生の多くは春の気候条件に左右される。
												鳥インフルエンザ	ProMED-mail20061008.2890	Udayana大学獣医学部のチームは、パリで鳥インフルエンザウイルスがブタに感染したことを示す証拠を発見した。現在、さらに広範な規模の研究が進行中である。20頭のブタのうち、2頭がH5N1ウイルス感染陽性であった。鶏および鴨の飼育パターンによりこれらの動物がブタ小屋に自由に入れることから、ウイルスの接触感染が見込まれるということである。パリでは900,000頭のブタがウシと隣り合わせで飼育されている。
105	2007/02/27	60902	化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Guidance for Industry (DRAFT GUIDANCE) FDA/CBER August 2006	古典的CJDの潜伏期間は38.5年であり、vCJDの潜伏期間も非常に長いことが示唆されている。また、未確認ではあるが恐らくかなりの数の血液ドナーが、欧州におけるBSE激増中にフランスで感染した可能性がある。これらのことから、FDAは1980年以降フランスで血液又は血液成分の輸血を受けた者からの供血を無期限に停止するという予防策の導入をガイダンス案として発表した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
106	2007/02/27	60903	化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第Ⅹ因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅹ因子	血液凝固第Ⅹ因子	ヒト血液	日本	有効成分	無	無	無			
107	2007/02/27	60904	化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第Ⅹ因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅹ因子 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国、フランス、米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
108	2007/02/27	60905	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン	初代腎臓培養細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
109	2007/02/27	60906	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	ラクトアルブミン	ウシ乳	オーストラリア、米国、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	CDC/MMWR 2007; 56(04): 73-76	2006年12月中旬にケニア保健省に発熱と全身出血と伴った原因不明の死亡例数例が北東部のGarissa地区から報告された。12月20日までに計11例の死亡例が報告された。患者19例中10例の血清からリフトバレー熱(RVF)ウイルスRNAまたはRVFウイルスに対するIgM抗体が検出された。黄色熱、エボラ、クリミア-コンゴ出血熱、デングウイルスには全ての血清検体が陰性であった。6検体からRVFウイルスが単離され、確定された。2007年1月25日現在、死亡118例を含む404症例が報告されている。
110	2007/02/27	60907	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 組織培養不活化狂犬病ワクチン	血清	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	CDC/MMWR 2007; 56(04): 73-76	60906に同じ
111	2007/02/27	60908	化学及血清療法研究所	①乾燥細胞培養痘そうワクチン ②乾燥弱毒生風しんワクチン ③乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン ④組織培養不活化狂犬病ワクチン	筋アデニル酸	ウマ肉	米国	①～③製造工程・添加物 ④製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要	
112	2007/02/27	60909	化学及血清療法研究所	①乾燥細胞培養痘そうワクチン ②沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ③沈降破傷風トキソイド ④ジフテリア破傷風混合トキソイド ⑤ジフテリアトキソイド ⑥コレラワクチン ⑦乾燥ジフテリアウマ抗毒素 ⑧乾燥ボツリヌスウマ抗毒素 ⑨沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ⑩破傷風トキソイド	ペプトン	ブタ胃	日本、米国	①添加物 ②～⑩製造工程	無	無	無				
113	2007/02/27	60910	化学及血清療法研究所	①乾燥細胞培養痘そうワクチン ②乾燥弱毒生風しんワクチン ③乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン ④組織培養不活化狂犬病ワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージ ランド、オース トラリア	①～③製 造工程・ 添加物 ④製造工 程	有	無	無	ウイルス感染	CDC/MMWR 2007; 56(04): 73-76	2006年12月中旬にケニア保健省に発熱と全身出血と伴った原因不明の死亡例数例が北東部のGarissa地区から報告された。12月20日までに計11例の死亡例が報告された。患者19例中10例の血清からリフトバレー熱(RVF)ウイルスRNAまたはRVFウイルスに対するIgM抗体が検出された。黄色熱、エボラ、クリミア-コンゴ出血熱、デングウイルスには全ての血清検体が陰性であった。6検体からRVFウイルスが単離され、確定された。2007年1月25日現在、死亡118例を含む404症例が報告されている。	
114	2007/02/27	60911	化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	ラクトビオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	米国、カナダ、ニュー ジーランド	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	CDC/MMWR 2007; 56(04): 73-76	60910と同じ	
115	2007/02/27	60912	シェリン グ・ブラウ	インターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2006; 77: 880-882	1970年～2003年にヒト硬膜に関連したCJD7例が英国で確認された。手術後発病までの期間は平均93ヶ月(45～177ヶ月)であった。さらに、世界で初めて、ブタ硬膜片レシーピエントでCJD1例を確認した。これらの症例の臨床的、病理学的特徴について述べている。	

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	Pediatr Infect Dis J 2006; 25: 390-394	台湾の小児におけるSENウイルス(SENV)感染の感染経路、輸血と肝疾患における役割を調べた。健康者および病気の小児由来の血清中のSENV-DおよびSENV-H DNAをPCRで検出したところ、サラセミアの小児、心臓手術中に輸血を受けた小児、慢性B型またはC型肝炎の小児、ならびに胆汁閉鎖の乳児ではSENV-D/H血症の有病率が有意に高かった。SENVは若年時に感染する割合が高く、輸血はSENV血症率を有意に増加させる。
												ウイルス感染	J Med Virol 2006; 78: 747-756	サイトメガロウイルス(CMV)、パルボウイルスB19 およびヒトヘルペスウイルス(HHV)7と胎盤感染との相関について調べた。2つのプロスペクティブおよび1つのレトロスペクティブコホートからの母子の検体について、multiplex PCRを用いた催奇形性病原体検査を実施したところ、105検体中13%で胎盤感染が認められた。胎児の死亡と関連する主な胎盤感染病原体はヒトCMVであった。
												HIV	J Acquir Immune Defic Syndr 2006; 42: 248-255	2004年1月から2005年4月に、台湾でHIV-1感染した注射薬物使用者(IDUs)の分子疫学的研究を行った。HIV-1陽性131検体を調べたところ、128例でHIV-1 CRF07_BCが確認された。これは、中国のIDUsの間で優位に循環しているウイルス株に似ていた。23例は中国南西地方への旅行歴があり、そこで針や器具を共有していたことから、HIV-1 CRF07_BCは中国から台湾へ伝播した可能性が示唆された。
												ウイルス性脳炎	CDC/MMWR 2006; 55(25): 697-700	2005年8月～9月の間に、ニューハンプシャーHealth Human Serviceは東部ウマ脳炎ウイルス(EEEV)のヒト症例7例を報告したが、41年間の国家サーベイランスで初めての確定例である。同時期にマサチューセッツ公衆衛生局もEEEVヒト症例4例を報告したが、これは同州の過去10年間の報告例の年間平均の5倍に相当する。同州の患者11例中4例が死亡した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用指値	感染症(PT)	出典	概要
												マラリア	ProMED-mail20060627.1783	2006年1月以降、インドWest Bengal州においてマラリアの新規株によりヒト55例が死亡し、18000例以上が感染した。Darjeelingでは2006年1月以降、約2400例がマラリアに感染し、Plasmodium falciparumの新規株が感染の原因であると思われる。この新規株は、ミャンマーまで追跡され、突然変異を起こし、薬物抵抗型になった。従来の薬物はほとんど効果がなく、混合した物を試している。
												デング熱	ProMED-mail20060624.1756	ベトナムHo Chi Minh市予防医学センターは、2006年初頭から約2,700例のデング熱症例を報告した。この症例数は、2005年の同期間と比較して2倍である。水道普及率が低い地区でデング熱の発生率が高い。
												感染	HPS Weekly Report 2006; 40(27): 144	スコットランドのGenitourinary Medicine(GUM)クリニックの活動に基づく2005年の性感染症更新データ等を含む集計表が発表された。2004年と比べて、性器クラミジアは8%、淋病は7%、性器ヘルペスは4%、HIVは11%増加した。
												デング熱	ProMED-mail20060713.1935	2006年1～6月にフィリピンIloilo市で、デング熱10例(内3例は死亡例)が報告されているが、前年同時期の40例に比べると報告数は減少している。しかし、2005年1～6月にはデング熱による死亡例はなかった。ブラジルでは2006年6月末の首都Sao Pauloにおけるデング症例は、373例であり、2005年同時期の約10倍であった。
												コンゴ・クリミア出血熱	ProMED-mail20060719.1985	2006年、ロシア南連邦管区Rostov地域において、クリミアコンゴ出血熱の罹患患者数が増加している。これまでに47例(死亡5例を含む)が記録されている。2005年同期間には16例であった。クリミアコンゴ出血熱の増加は環境中のダニ密度の増加と関連がある。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												トリパノソーマ 症	CDC/MMWR 2006; 55(29): 798-800	ロサンジェルスでの心臓移植患者2名で、臓器移植によるシャーガス病伝播が見られた。1例は拒絶反応による合併症で死亡し、もう1例は心不全で死亡した。両例ともドナーがTrypanosoma cruzi感染者であったことが明らかとなった。米国における固形臓器移植によるT. cruzi伝播としては4例目と5例目になる。
												寄生虫感染	ProMED- mail20060721.2007	ケニア保健省は、Eastern地方においてカラアザール(内臓リーシュマニア症)のアウトブレイクを確認した。脾臓吸引により少なくとも10例が陽性と確定された。30人以上の小児がカラアザールの症状で入院中である。
												B型肝炎	Hepatology 2006; 44: 99-107	HBV表面抗原(HBsAg)検査とミニプール核酸増幅検査(NAT)により、アフレーシス(血漿/血小板)ドナー1例が、急性HBV感染と診断され、2週間後の抗HBc(IgM)と抗HBsの検出により確定された。ドナーは臨床症状を示さず、ALT値も正常であった。ドナーおよび各レシピエントの保存検体を高感度HBV NATsにより検査したところ、ドナーの過去の献血検体だけでなく、濃縮血小板を輸血された2例のレシピエントからもHBV DNAが検出され、さらに全例が遺伝子型タイプG単独感染であることが明らかとなった。
												コンゴ・クリミア 出血熱	WHO/EPR 2006年8 月8日	2006年1月1日～8月4日にトルコ保健省により、死亡20例を含むクリミアコンゴ出血熱の検査確定症例242例(症例致死率:8.3%)が報告された。このうち92症例および新規に報告された死亡例9例は、2006年6月30日以降の最新情報に該当する。死亡例のうち1例は、クリミアコンゴ出血熱症例の治療中に感染した医療従事者であった。
												細菌感染	AABB Weekly Report 2006; 12(27): 2-3	米国、カンザスシティのCommunity Blood Center(CBC)は、大腸菌を含む血小板1ユニットを投与された入院患者が死亡して以降、ドナーに対し文書を発行し、複数の内部変革を実施した。FDAは、この輸血が患者の死亡に“貢献した因子”であると断定している。ドナーが2005年12月にCBCに来院した時点では健康であった。しかしながら多重システムの障害により、細菌学的に陽性の血液ユニットが地域の病院へ提供された。